



平成30年度 高松市立十河小学校 グランドデザイン



香川県教育基本計画
「夢に向かって
チャレンジする人づくり」

高松市教育振興計画
「確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢にむかってたくましく生きる人づくり」

(1) 学校教育目標
十河に誇りをもち
自らを磨き 高め合い たくましく生きる子どもの育成
キーワード アクティブ・ラーニング

○全校児童数 563名
○学級数
通常学級 18
特別支援学級 4

めざす児童像

学びをつくる子 (探究・創造) 認め高め合う子 (自立・協働) 心も体もすこやかな子 (感性・健康)



(2) 学校教育方針

重点指導事項

- 1 アクティブ・ラーニングの推進
- 2 基礎学力の定着
- 3 『十河の香り活動』の充実
- 4 高学年で専科や交換授業の導入 + 小中連携(外国語)
- 5 落ち着きのある学校の実現
- 6 すこやかな体の育成
- 7 特別支援教育、人権・同和教育の充実
- 8 いじめ対応、不登校対応、教育相談の充実
- 9 家庭・地域との協力・連携



めざす教師像

- ー 児童にとって最大の教育環境は教師である ー
- ◎ やっぱり子どもが主人公 (子どもとともに 子どものために)
- ◎ 組織として仲間と伸びる教師集団
- ◎ 教師こそが「十河の香りを育み 未来を拓き 社会に出て」いこう。



地域の課題

地域のもつ自然、歴史、文化、人を生かし、地域に出向き、人や物と出会い、理解を深め、誇りをもち、住みよい楽しい地域になるよう、学校と地域が一体となって子どもと向き合うことができている。四季折々に子どもを対象とした地域イベントを催すなど、地域の教育への関心は保護者に負けないほど強い。しかし、自治会や子ども会への加入率が徐々に低くなってきており、住民同士の連帯感や地域を思う気持ち・態度に温度差が出てきているため、その対応は課題である。

研究主題 「十河の香り」を育み 未来を拓き 社会に出る教育

ー 問題解決的実践学習における、深い学びにつながる問いと対話の在り方 ー

十河の香り活動

(探究 創造 自立 協働 感性 健康)

探究活動Ⅰ「十河の水」

ー水と緑の香りー

- 飲み水 ○ため池・用水
- 森林 ○野菜づくり

探究活動Ⅱ「十河の文化」

ー歴史と文化の香りー

- 地域の祭り ○地域の古いもの
- 城 ○歴史

探究活動Ⅲ「十河の人」

ー人の技の香りー

- 店で働く人 ○安全・防災
- 米・麦・うどんづくり ○菊づくり

カリキュラムマネジメント (学校運営協議会)

校内
3部会

活かす力部会(学びづくり)

- 問題解決的実践学習の推進
- 基礎学力の定着
- マイ・スタディの推進
- 家庭学習の推進

コミュニケーション部会(仲間づくり)

- 対話力の向上
- 対話を深める手立て
- 外国語・外国語活動の推進

健やか部会(体・心づくり)

- 体力づくりの推進
- 道徳教育の推進
- 支持的学級づくり